

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

3月号

2019
vol. 234

communication × voluntary



将来の夢をしゃべる10代の子どもたち(こどもの里)

特集

子どもの生きる力を育む 「子どもがつくる子どもの居場所」

～認定NPO法人こどもの里～

- 4 地域こども支援ネットワーク事業「日本調剤新大阪薬局 薬剤師体験」
- 6 厚生労働大臣表彰受賞「ボランティアグループ旭」

子どもがつくる子どもの居場所

～認定NPO法人 ^{さと}こどもの里～



野球やドッジボールなどボール遊びは異年齢で盛り上がります

大小さまざまなサイズの靴が賑やかに並ぶ玄関。こどもの里（西成区）は、誰でも出入り自由。自分が好きな時にきて、好きな遊びをする。友だちとのケンカは日常茶飯事。泣いて笑った思い出がいっぱい詰まった子どもたちの居場所です。今回、幼少期からこどもの里で過ごしてきた10代の子どもたちが、里や自分〴〵のことについて話しました。

あそびは心を育む

1階は、跳び箱や卓球台があつて、いつでも遊べるよう子どもたちの手の届くところに玩具や工作の材料が置いてあります。2階にキッチンがあり、食器洗いをしたり、眠そうな赤ちゃんを交代で抱っこする10代の子どもの姿がありました。

月1回の誕生日会、田植えに稲刈り、運動会、進級や卒業・就職などを一挙にお祝いする〴〵なんでもパーティーなど「こどもの里の行事は二杯ありすぎてわからんけど、あつたら行く」と勝さん（17歳）。サマーキャンプで、川に飛び込んだ時のことを思い出してみなで笑い合います。

冬には、毎週土曜日の学習会の後、野宿している人を訪問することでも夜まわり〴〵が続いています。物心つく前から里で過ごしてきた子どもたちが



公園であそんだ帰り道

にとつては、これらは全て「普通」のことと沙夜さん(16歳)は言います。

あそび、学び、生活を守る

こどもの里は、1977(昭和52)年に学童保育としてスタートしましたが、「弟や妹をおんぶした子どもたちの姿を見て、あなたは来たらダメとは言えなかった」と幅広い年代の子どもたちを受け入れるようになりました。

「こういう場所をつくろうと思ったんじゃないくて、実は、子どもたちがこの場所をつくったんです」とこどもの

里代表理事の庄保共子さん。子どもたちからは「めきん」の愛称で慕われています。

土日が仕事の親が多く、子どもたちが「あけろ」と入口に集まってくる。だから土日祝を開所することになりました。父子家庭で夜に仕事に行くと、子どもがひとりぼっちになる。だから、夜間に子どもを預かるようになりました。若者のための自立援助ホームなど、目の前にいる子どもたちのニーズに合わせて、子どもたちの遊びと学びと生活を守ってきました。

生きるために働きたい

「小さい時、電車に乗って迷子になって、めきんに探された」と話す淳さん(17歳)は、高校に入ってから友だちとのトラブルで学校とバイトを辞めてしまったそうです。「この場所がなかったら今の自分は何してたかな」とつぶやきます。

「これから仕事とかどうしたらいいかな」とひとりぐ不安を話し出すと、「学校も生活も、恋も人間関係も全部、不安!!」とみんな心の内を話し始めました。「オレは紹介してもらった仕事やから絶対辞めへん」という開人さん(19歳)は、ボランティアの紹介で今の仕事に就きました。



子どもと一緒に絵本を読む庄保共子さん

みんな朝が苦手だったり、勉強でつまずいたり、悔しい思いをいっぱい経験しながらも、働くことに意欲的です。スタッフの植月健司さんが、「みんなは5年後何してるかな?」と問いかけると、「農業がしたいね」「外国行きたい」「料理人になりたい」「俳優になりたい」と目を輝かせて夢を語る子どもたち。

自分がどんな仕事をして、自立していくかということを真剣に悩み、日々を葛藤し、里の仲間やスタッフと、冗談を言い合いながら前に進もうとしています。「よし。みんなでハローワークにいこー」と言う姿にたくましさを感じました。

たくましく生きる子どもたち

「子どもはだんだんと人間になるのではなく、すでに人間である」と子ども

の権利条約(※)の父、ヤヌシ・コルチャックの言葉があります。「子どもには、安心・自信・自由が当たり前前に認められる居場所が必要」だと庄保さんは強調します。

「こどもも夜まわり」など人の命を考える学習会を通して、自分の命を考える。家族のこと、自分のことを良しとして、たまに学校を休んで、色んなことをやってみる。そうして自己肯定感を育んできました。

開所から40年たった今も、子どもたちが親のしんどさを背負っている状況は変わっていません。それでも普段は文句も言わずに、たくましく「生懸命に生きる子どもたち。10代後半の若者たちが安心して食べて寝て休める住まいと働ける職場、生きていいと思える居場所が必要なんです。

※子どもの権利条約4つの柱

「生きる権利」
「育つ権利」
「守られる権利」
「参加する権利」

認定NPO法人(認定特定非営利活動法人)

こどもの里

問合せ: 西成区萩之茶屋2-3-24

TEL&FAX 06-6645-7778

食の活動を通して地域社会を変えよう！

食でつながるフェスタおおさかを開催

12月16日、「食でつながるフェスタおおさか」が大阪市社会福祉研修・情報センターとにしなり隣保館スマ

イルゆくとあいで開催され、こども食堂を運営するボランティアや社会福祉施設、企業や社会福祉協議会の職員など約



全体会で各分科会の報告を共有する上野谷所長

100人が参加しました。今回で3回目となるこのイベントは、食を通じた福祉活動や居場所づくり活動が、地域社会全体に広がっていくよう参加者とともに考える機会となっています。

こども食堂は継続することが大切

オープニング鼎談では、大阪市ボランティア



分科会3に登壇した鈴木さん、山本さん、濱辺(左から)

とができる、こども食堂は継続することが大切」と話すと、牧里さんは「こども食堂を続けるには、関わる人たちの意識をすり合わせていくことが必要」と続けます。石田さんは「こども食堂の対象を小学生に限らず中高生までに広げてほしい。高校生がこども食堂に通うことで元気になった例もあります」と話しました。

各分科会で活発な意見交換

分科会では4つのテーマを掲げ、活動者や関係者がそれぞれの取組みを報告しました。

ア・市民活動センター所長で同志社大学教授の上野谷加代子さん、関西学院大学名誉教授の牧里每治さん、桃山学院大学名誉教授の石田易司さんが登壇し、地域の居場所としてのこども食堂への期待や、運営に関わるボランティアの役割について意見を述べました。上野谷さんは「食は世界を変える可能性がある分野。食で心も身体も満たすこ

「こども食堂を応援する仕組みづくり」をテーマにした分科会3では、こども食堂やそれを支援する団体や企業等のネットワークづくりに取組む堺市社会福祉協議会と大阪市社会福祉協議会の他、助成金や寄付金を通じてこども食堂等を支援している一般社団法人キユーピーみらいたまご財団とアサヒ飲料株式会社から取組み報告がありました。

コーディネーターを務めた神戸医療福祉大学准教授の鈴木大介さんは、「こども食堂を継続していくためには、こども食堂に関わる活動者を応援していくことと、企業などが積極的に参加しその応援者を支えていく仕組みが必要だ」と分科会をまとめました。

地域こども支援ネットワーク事業

こどもたちが薬剤師体験！

薬の大切さや患者さんへの接し方を学ぶ

12月15日、「日本調剤新大阪薬局」でこども薬剤師体験が開催され、地域の子どもたちが、薬に見立てたお菓子やジュースを使って調剤体験を行いました。

日本調剤株式会社では、地域貢献が薬局の役割の一つであると考
え、薬剤師の仕事の意義や薬の大
切さについて関心を高めてもらおう
と、地域の子どもたちを対象に、約



薬剤師と一緒に薬(お菓子)を計量する子どもたち

本調剤株式会社では、地域貢献薬局の役割の一つであると考
薬剤師の仕事の意義や薬の大
について関心を高めてもらおう
域の子どもたちを対象に、約
7年前から全国でこの取組
みをスタートしています。

体験当日は4歳から11歳までの子ども8人が保護者らと一緒に参加しました。白衣を着た子どもたちは、受付窓口で受け取った処方箋をもとに、薬局で実際に使用している機器を使い、錠剤に見立てたお菓子を一包ずつにまとめたり、練り薬を作ったり、ジュースの粉を使って水薬を作る体験をしました。薬剤師のアドバイスのもと、液量計に〇おくすり〇を入れる子どもたち。その真剣な姿は、薬剤師も驚くほどで

した。

できあがった、おくすり^は、薬局のカウンターから手渡します。「○さん!」呼び慣れない名字でお母さんをおぶ子どもたち。「のみすぎないように気をつけてくださいね。おだいじに」と、薬剤師と二緒に声かけをする姿が印象的でした。

「初めてで緊張しましたが、楽しかったです。子どもたちがみんな一生懸命でした」と話してくれたのは、薬剤師の西川彩さん。他の薬剤師からも「子どもたちが上手で驚きました」という声が。日頃は薬を通して地域の人たちの健康を守っている薬剤師。子どもたちとのふれあいは、働く人たちにとっても充実した1日となりました。



薬局の窓口で薬を渡す準備をします

ボランティア活動総合補償制度のご案内

(引受保険会社:三井住友海上火災保険株式会社)

ボランティア活動保険

補償概要		ボランティアがボランティア活動中に、 ①偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」		
加入対象		無償活動であること(交通費実費等は除く) 活動のための会議や往復途上も含む 自助活動は補償対象外		
保険期間		毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入は受付日の翌日から)		
補償内容		Aプラン	Bプラン	Cプラン (天災担保)
傷害 保険 部分	死亡保険金	死亡・ 後遺障害 保険金額 1,420万円	死亡・ 後遺障害 保険金額 2,090万円	死亡・ 後遺障害 保険金額 1,660万円
	後遺障害 保険金			
	入院 保険金	6,500円 (日額)	11,000円 (日額)	6,500円 (日額)
	手術 保険金	入院保険金日額に手術の 種類に応じた倍率を乗じた額		
	通院 保険金	2,500円 (日額)	5,000円 (日額)	3,000円 (日額)
賠償 責任 部分	対人 対物 共通	1事故につき5億円(限度額) 免責金額なし		
年間保険料 (1人)		300円	500円	600円

非営利・有償活動団体保険

(団体・グループで加入)

補償概要		ボランティア活動保険の対象外となる非営利・有償活動中に、①スタッフが急激かつ偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」②利用者など第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」	
加入対象		①福祉・文化・保険衛生・自然環境等の分野における「営利目的ではない社会貢献活動」であること ②利用者から実費(交通費・食事代・材料費)を超える対価を得ていること 等の加入要件を満たした非営利・有償活動を実施する団体・グループ ※2人以上からの加入	
保険期間		毎年4/1～翌年4/1までの1年間 (中途加入は手続完了した日の属する月の翌月15日から)	
補償内容		Aプラン	Bプラン
傷害 保険 部分	死亡保険金	死亡・ 後遺障害 保険金額 160万円	死亡・ 後遺障害 保険金額 328万円
	後遺障害 保険金		
	入院 保険金	3,000円 (日額)	
	手術 保険金	① 入院中に受けた手術:3万円 ② ①以外の手術:1.5万円	
	通院 保険金	1,000円 (日額)	1,500円 (日額)
賠償 責任 部分	身体障害 財物損壊	施設所有(管理)者・生産物につき 1名:1億円限度 1事故:2億円限度 施設所有(管理)者・生産物につき 1事故:500万円限度	
年間保険料		4,900円	6,300円
(中途加入の場合、加入月により保険料が異なります)			

大阪市ボランティア・市民活動センターと、各区ボランティア・市民活動センター／ボランティアビューローでご加入いただけます。

※ボランティア・市民活動行事保険は次号でご案内します。

●お問合せ先

制度運営

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618

取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 島本保険事務所

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階(伊藤忠ビル)

TEL.06-6252-4520 FAX.06-6245-4686

NPO法人の組織の特徴は？

総会

- 法人の最高意思決定機関 最低、年1回開催
- 社員(=正会員→10人以上)によって、主に事業&決算報告/主に次年度計画&予算などを決議 定款に定めたことを決議する。

理事会

- 法人の経営責任者 (法人の業務を決定する役員3人以上)
- 必置ではない、設置の場合は定款に定め、議決事項も記載

事務局

- 法人の実務、活動を実施する機関(必置ではない)
- 組織形態により、設置状況は様々。有給職員が配置されることもある。

教えて、
おくばっくん!
Vol.3



その他、法人が適正にNPO法人としての活動や義務を行っているかを監査する監事(1人以上)が必要です。

役員

理事:法人の経営責任者。法人の顔ともいえ、団体の目的を達成するために引っ張っていく。
監事:団体の事業、会計が定款や法にのっとり適正に行われているか監査を行う人。

社員

法人の意思決定をする議決権を持つ。総会を構成するメンバーで、一般的な会社員ではない。
団体の理念や活動を共有できるメンバー。

持続的に活動するための運営のルールを決め、活動を支えるための人集め、組織作りを
考えることが必要です。



花田区長(前列左から3番目)から表彰状が贈呈されました

毎週火曜日、旭区社会福祉協議会で開催しています。講師は栗栖さん。グループ

ます。

ボランティアグループ旭は旭区内で手話の勉強会を主催し、手話通訳者の派遣を行う20人ほどのグループです。1977(昭和52)年に会を発足後、長きにわたって活動を続けてきました。代表の栗栖憲さんは「耳の聞こえないご近所の人と喋りたいと思いました。それがきっかけで手話ができる人を一人でも増やしたいという思いで活動を続けてきました」と語ります。

手話の勉強会などを主催

旭区内で40年以上も手話の普及活動が続いている「ボランティアグループ旭」が、ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞しました。

厚生労働大臣表彰受賞!! 手話がつなぐ交流の輪

ボランティアグループ旭

プのメンバーは「先生は褒め上手」、「先生が丁寧に教えてくれる」と信頼を寄せています。初心者是指文字から始まり、挨拶や自己紹介など日常生活の習得をめざしています。区内の小中学校で手話を指導し、障がい者施設では月1回「手話歌」を披露しています。楽しく手話を学べる手話歌を利用者さんも楽しみにしています、そのことが活動の励みになっています。

定年退職後に手話を始めたメンバーも、今は聴覚障がいのある人のハイキングサークルに参加したり、困っている人に手話で話しかけるようになりました。「ここに来ると、友だちに会える。手話がなかったら出会えなかった」と交流の輪が広がっています。

問合せ

旭区ボランティア・市民活動センター(担当:宮田)
TEL.06-6957-2200



勉強会で日常会話など学ぶメンバー

24区社協の担当者がボラセン運営について学ぶ

区社協コーディネーションネットワーク実務研修を開催

ボランティアの「夢をカタチに」していくボラセン

1月11日、大阪市社会福祉研修・情報センターにて、大阪市内24区社会福祉協議会（以下、社協）のコーディネーションネットワーク実務研修を開催しました。全3回の3日目となる今回は、「ボランティアセンターの運営を考える」と題し、関西国際大学教育学部社会福祉学科の岩本裕子先生を講師に招き、社協がボランティアセンター（以下、ボラセン）を運営する意義や、ボラセンを通して実現していきたいことなどを考える一日となりました。

ボランティアセンターの運営を考える」と題し、関西国際大学教育学部社会福祉学科の岩本裕子先生を講師に招き、社協がボランティアセンター（以下、ボラセン）を運営する意義や、ボラセンを通して実現していきたいことなどを考える一日となりました。



グループワークで区の実践を語ります

ボランティア活動を推進していくボラセンは、地域住民や市民の参加が大前提であり、その仕組みのひとつである「運営委員会」の役割について、研修の中で東住吉区社協のボランティアコー



東住吉区社協 井上佳奈さん

ディネーター井上佳奈さんから報告がありました。東住吉区のボラセン運営委員会は、企業、NPO法人、ボランティアグループ、施設など約10人から成り、東住吉区のボランティア・市民活動の活性化のために活発な議論がなされています。「運営委員会では、叱咤激励をいただけるとともに、一緒に悩み、考え意見をいただける場所です」と、井上さんは話します。

続いて、ボラセンが地域の新たな居場所として様々な活動を行っている事例を、大正区社協の地域活動担当の会田亮さんが報告しました。男性の居場所をつくりたいという思いから始まった「おやじカフェ」は、毎回の参加者が70人を超えています。他にもお抹茶サロンやキッズカフェなど、地域のみなさんに愛されるボラセンをめざして、様々な仕掛けが報告されました。



大正区社協 会田 亮さん

これらの報告の後、グループワークで自区での実践を語る担当職員の顔は、生き生きとしていました。「ボラセンは課題を語り合う場ではなく、夢を語り合う場です」と講師の岩本先生は話します。各区のボランティア・市民活動センターは、これからもボランティア活動の拠点となり、それぞれの区での持ち味を活かした活動を推進していきます。



おくぼくん

24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覧は裏表紙に記載



ドリームデイ・アット・ザ・ズー DREAM DAY at the ZOO



障がいのある人とその家族と一緒に動物園で楽しいひと時を過ごす「ドリームデイ・アット・ザ・ズー」が、昨年に引き続き、今年3月に天王寺動物園の休園日に開催されます。この機会に園内をどうぞごゆっくりお楽しみください。



きりんのおやつタイムを楽しむ参加者(昨年3月の様子)

日時 平成31年3月25日(月)
午前10時～午後3時まで

対象 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳、戦傷病者手帳のいずれかをお持ちの方とご家族及び介助者。

内容 園内見学、動物ガイドなど

入場無料 手帳をお持ちの方、ご本人以外のご家族、介助者も無料です

定員 3,000人(先着順)

参加方法 事前申込みが必要
申込時期、申込方法については、天王寺動物園のホームページをご覧ください

※下記をご了承のうえ、ご応募ください

- ・てんしばゲート、サバンナエリアなど、園内には坂道があります。介助が必要な方は付き添いが必要です。動物園で介助の提供はしていません。
- ・当日は報道各社による取材が入る可能性があります。
- ・動物が驚いてしまうため、獣舎前でのフラッシュ撮影はご遠慮ください。
- ・動物の体調や天候等により、変更・中止する場合があります。
- ・雨天決行ですが、暴風警報が発令された場合は中止とし、天王寺動物園ホームページでお知らせします。
- ・当日は、確認のため、ゲートにて身体障がい者手帳等の原本をご提示いただきます。
- ・園内に駐車場がありません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

問合せ 天王寺動物園 TEL.06-6771-8401

交通アクセス

各線「天王寺」駅、「動物園前」駅、「恵美須町」駅、「新今宮」駅から徒歩約5分から10分

平成31年度 大阪市ボランティア活動振興基金

平成31年度助成

説明会・交流会を開催します



日時 平成31年2月27日(水)

- ①午後2時～5時(説明会・事業報告会・交流会)
- ②午後6時30分～8時(説明会のみ)

会場 大阪市立社会福祉センター1階 第7会議室
(天王寺区東高津町12-10)

内容 平成31年度助成事業内容・申請方法の説明
①のみ過去に基金を受けた団体からの事業報告会・交流会を行います
※報告団体「NPO法人子どもセンターぬっく」、「ひだまり学習塾」

対象 福祉ボランティア活動を行う非営利の活動団体等、本助成金の申請対象団体

定員 各回30人(先着順) **参加費** 無料

申込 申込フォームまたは、FAX、TEL
(団体名、活動区域、連絡先、参加者氏名、どちらへ参加するか①or②をお伝えください)

■申込・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター (西村・岩尾・岡田) P14参照



活動者からの報告を熱心にきく参加者(昨年の様子)

申込フォーム
こちらから



大阪市ボランティア活動振興基金は、大阪市内の福祉ボランティア活動がより充実したものになるよう、支援するための基金です。新しい活動に取り組むための資金を求めている、事業を広げたいなど、基金に関心のある団体の皆さん、ぜひご参加ください。

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



情報マーケット掲載団体に 問合せするのに便利なQRコード

- 1 気になる情報があれば、スマホで
下記QRコードをバーコードリーダー
で読み取る
- 2 掲載団体の情報一覧を
ダウンロード!!
- 3 問合せ先、
団体ホームページなどに
アクセスできます!



④ 2019年度 市岡日本語教室 新規ボランティア募集

特定非営利活動法人市岡国際教育協会

<https://ichioka-nihongo.org>

弁天町で、外国人と日本語でおしゃべりをしたり、交流をしたりしています。
市岡日本語教室では新規ボランティア募集のための説明会、見学会、研修会を行います。毎週金曜日の夜に活動できる人、ぜひご参加ください。

日 程 3/8(金) 新規ボランティア説明会
3/15(金) オープンクラス、ボランティア見学会
3/22(金) ボランティア研修会
3/29(金) ボランティア研修会
いずれも19:00~21:00

場 所 港区民センター(港区弁天2-1-5)
地下鉄・JR「弁天町」駅 徒歩7分

申込方法 TEL・Eメール

問合せ TEL/080-3846-2581

Eメール info@ichioka-nihongo.org (担当:神原・礼葉)

① 淀川水系一斉美化アクション参加者大募集

淀川管内河川レンジャー事務局

<http://www.river-ranger.jp>

今年も淀川水系の清掃活動を実施いたします。

すぐにできる環境保全、私たちとゴミ拾いをしませんか?

日 程 ①2/17(日) OSAKACITY淀川左岸クリーン大作戦 10:00~12:00

②2/24(日) 3区合同淀川右岸クリーン大作戦 10:00~11:30

場 所 ①中津 十三大橋南西詰・堤防集合 受付10:00

赤川 馬場こうもん北東側 蕪村石碑前 堤防上 受付10:00

②淀川区 淀川区役所夜間出入り口集合 受付10:00

東淀川区 淀川右岸菅原城北大橋下の広場集合 受付9:50

西淀川区 サンリバー・柏里商店街「コミュニティ柏の里」前集合 受付9:30

人数・条件 小・中・高生大歓迎 ※中学生以下は大人同伴

車手・タオル・清掃用具・雨具各自持参

申込方法 事前申込不要(雨天時の実施確認は、HP参照)

問合せ TEL/072-861-6801 FAX/072-841-5663

Eメール cyuuou-kasen@nifty.com (担当:高山)

⑤ 港区ボランティア活動情報紙「ひまわりのたね」 編集部ボランティアさん 大募集!

港区ボランティア・市民活動センター

<http://www.minatoku-shakyo.com>

港区社会福祉協議会で2ヶ月に1回発行している、ボランティア活動情報誌「ひまわりのたね」の、編集や発送作業のお手伝いをしていただけるボランティアさんを募集しています。お気軽にお問い合わせください!

日 程 偶数月は編集会議、奇数月は発送作業を行います

※曜日・時間についてはご連絡の上、ご確認ください

場 所 港区ボランティア・市民活動センター(港区弁天2-15-1)
地下鉄・JR「弁天町」駅 徒歩11分

人数・条件 どなたでも 単発での参加も歓迎です

申込方法 TEL・FAX・Eメール

※住所・氏名・年齢・連絡先をお知らせください

問合せ TEL/06-6575-1212 FAX/06-6575-1025

Eメール himawari@minatoku-shakyo.com (担当:田中)

② 朝フラ体操指導員募集

NPO法人日本朝フラ体操協会

<http://asahula.com/>

ラジオ体操後の朝の公園でフラダンスを指導するボランティアです。初めは一緒にいきますが、いずれはご自身のご近所の公園で指導をお願いします。

日 程 毎週水曜日と金曜日

場 所 千鳥橋みどり公園 阪神「千鳥橋」駅 徒歩5分 6:45~7:00

八幡屋公園 地下鉄「朝潮橋」駅 徒歩1分 8:55~9:10

人数・条件 出来るだけ毎回参加できる人
(指導者講習会は別途会費が必要)

申込方法 Eメール・HP

問合せ TEL/080-3498-5782

Eメール chie.kapiolani@gmail.com (担当:吉田)

⑥ 「楽笑おりがみ会」メンバー募集

楽笑おりがみ会

おしゃべりをしながら折り紙を楽しみませんか?季節ごとにテーマを決めて折っています。ちょっと習ってみようと思われている人、身近な人へのプレゼントに折ってみませんか?

日 程 毎月第4水曜日 13:00~15:30

場 所 大阪市ボランティア・市民活動センター 会議スペース
(天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1階)
近鉄「大板上町」駅 近鉄①出口 徒歩3分
シティバス「上本町六丁目」下車すぐ

人数・条件 どなたでもお気軽にご参加ください

申込方法 事前申し込み不要 直接会場にお越しください

問合せ TEL/080-5711-3956 (担当:大澤)

③ 住まいのライブラリーボランティア募集説明会

大阪市立住まい情報センター 住まいのライブラリー

<https://www.sumai-machi-net.com/event/portal/event/33367>

図書の貸出・返却の受付、書棚の整理、資料組みを中心としたライブラリー活動と住教育に関する模型製作等を行うボランティアを募集します。

日 程 住まいのライブラリーボランティアの説明会を実施いたします。

3/29(金) 11:00 ~ 1時間程度予定

3/30(土) 11:00 ~ 1時間程度予定

ボランティア活動時間帯 10:00~12:00、12:00~14:30、14:30~17:00、(平日・土曜日のみ)17:00~19:00

場 所 大阪市立住まい情報センター 5階 研修室 地下鉄「天神橋筋六丁目」駅3号出口 徒歩1分

人数・条件 定員:50人 各回先着順

満20歳以上でボランティア活動にかかる研修を受講できる人

申込方法 FAX・郵便・HP・来所

郵便番号・住所・氏名(ふりがな)と年齢・電話番号・参加希望日を明記

※参加希望日の記載のない人には、どちらかの日程で通知します。

問合せ TEL/06-6242-1160 FAX/06-6354-8601

〒530-0041北区天神橋6丁目4-20 4階住情報プラザ 住まい情報センター

(ライブラリー担当) ※火曜日・祝日の翌日休館



◀「時空想ひらのえんにち」に参加のボランティア交流会。興味ある話、積極的な感想にいっぱい元気をいただきました

Voice

ここでは、過去に“情報マーケット”で掲載した団体の声をご紹介します！

団体名 ひらの地域生活支援センター 時空想



活動内容についておしえてください。



障がいのあるなしに関わらず様々な人が出会い、地域での当たり前の暮らしを考え活動しています。外出企画、恒例のぶた汁ピクニック、月1回のフリートークや手話会、通信発行や地域のイベントにも参加しています。



ボランティア募集をかけるきっかけは？



地域で様々な人や団体との交流の機会が期待できると考えます。情報マーケットを通じて支援者と繋がりが、地域でのネットワークを広げていけたらいいと思いました。



ボランティアが参加したことで良かったことをおしえてください。



障がいのある人たちが、ボランティアさんと出会って、普段以上に張り切る姿、楽しそうな表情が印象的です。またボランティアさんに障がいのある人たちのことを知ってもらい機会になり、次回も参加したいと言ってもらえて嬉しかったです。

⑨時空想恒例のぶた汁ピクニック IN久宝寺緑地

ひらの地域生活支援センター 時空想(じくそう) 土日祝

協力NPO法人J-pal

<http://www.j-pal.or.jp>

障がいのある人ない人一緒に、JR平野駅から久宝寺緑地まで歩き、みんなでぶた汁を作って食べます。その後はゲーム・音楽で盛り上がりましょう。

日 程 3/30(土) 9:00~16:00

場 所 NPO法人J-pal (平野区平野宮町1-5-5-171)
JR[平野]駅 徒歩4分

人数・条件 定員:10人 参加費:300円・交通費支給(上限1,000円)
締切:3/8(金)

申込方法 TEL・FAX

問合せ▶ TEL/06-6793-4355 FAX/06-6793-4363
(担当:白木)

⑩平野区のみんな食堂で子どもと一緒にすごせる人募集

NPO法人キャンピズ

<http://campwith.jp/>

放課後、小中学生の宿題を見たり、宿題が終わればご飯を食べたり、遊んだり、子どもたちと一緒にすごしていただけます。

日 程 月曜日~土曜日 15:00~20:00

場 所 平野区内の各みんな食堂

人数・条件 子どもが好きで、子どもの成長を後押しできる人。
こども食堂に興味のある人。
※申込の際にオリエンテーション実施日を連絡。

申込方法 TEL・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6648-8384
Eメール minna@campwith.jp (担当:佐藤)

⑦「第23回なにわ人形芝居フェスティバル」ボランティアスタッフ募集!

なにわ人形芝居フェスティバル運営委員会事務局 土日祝

<http://isshinji.net/ningyoufes/>

桜咲くお寺や神社で人形劇や模擬店を楽しめる天王寺の地域イベント。スタンプラリーの受付などお手伝いいただけるボランティアさんを募集

日 程 4/7(日) 9:00~16:00

場 所 一心寺シアター倶楽(天王寺区逢坂2-6-13 B1F) 集合
※活動場所は一心寺~下寺町周辺
地下鉄[四天王寺前]夕陽ヶ丘駅 徒歩10分
JR・地下鉄[天王寺]駅 徒歩10分

人数・条件 定員:40人 終日活動できる人 食事・図書カード支給
※希望者にはボランティア証明書発行可

申込方法 TEL・Eメール・来所 締切:3/15(金)
※住所、氏名、年齢、連絡先、学生か一般を明記

問合せ▶ TEL/06-6774-2877
Eメール ningyoufes@isshinji.net (担当:堀上・木佐貫)

⑪病院内情報コーナーでの患者図書サービスボランティア募集

JCHO大阪病院ボランティア「ライラック会」 平日

<https://osaka.jcho.go.jp/>

書架整頓、整備・利用者対応、病棟巡回患者図書サービス。メンバーみんなで協力し合って楽しく仲良く、あふれる笑顔で患者さんに癒しを届けています。

日 程 月~金曜日でご都合の良い日(土・日・祝日は活動無し)
※10:00~16:00の時間帯で午前4~5時間
火曜は巡回活動のみ

場 所 JCHO大阪病院 (福島区福島4-2-78)
JR[福島]駅、地下鉄[玉川]駅 徒歩10分

人数・条件 年齢50~70才の本好き、子ども好きな女性。身体、精神共に健康な人。

申込方法 TEL・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6441-5451
Eメール volunteer-lilac@osaka.jcho.go.jp (担当:川崎)

⑧パピーウォーカー(子犬育成ボランティア)募集

社会福祉法人 日本ライトハウス盲導犬訓練所 平日 土日祝

<http://www.guidedog-lighthouse.jp>

生後50日~1歳になるまでの間、盲導犬候補の子犬を預かっていただくボランティアを募集しています。

日 程 常時募集しています

場 所 飼育は各ご家庭で行っていただきます

人数・条件 ・留守が少ない
・お車を持っている(子犬をいろいろな場所に連れて行っていただきたい)
・室内飼育が可能
・現在犬を飼っていないほうが望ましい(相談可)
・ある程度の経済負担が可能(月額5,000~8,000円程度) ※必要備品は貸与します
☆月1回訪問にて、しつけや健康面に関して、担当職員より指導・相談をいたします

申込方法 TEL・Eメール・HPの申込専用フォーム

問合せ▶ TEL/0721-72-0914(平日/9:00~17:00)
Eメール guidedog@lighthouse.or.jp (担当:大西)

⑬エンゼルサポーター認定研修会

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会 土日祝
<http://www.hitoren-osaka.org> 単
 産後間もない家庭での家事支援をしてくださるサポーターを募集しています！
日 程 3/9(土) 9:15～17:00
場 所 大阪市立愛光会館(北区中津1-4-10)
 地下鉄「中津」駅5番出口 徒歩5分
人数・条件 参加費:無料 次のいずれかの資格をお持ちで70歳以下の人。
 ヘルパー3級以上・介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修・
 介護福祉士・看護師・保育士・幼稚園教諭普通免許
 ※ひとり親家庭等日常生活支援事業 家庭生活支援員として要登録
 定員:30人 締切:2/23(土)
 託児あり 対象年齢:2歳～未就学児
 ※申込は、所定の申込用紙でFAX、郵送、来館受付。
申込方法 FAX・郵便・来所
問合せ▶ TEL/06-6371-7146 FAX/06-6371-6722
 〒531-0071北区中津1-4-10大阪市立愛光会館(担当:西田)

⑭自立支援セミナー～今、本当に必要な支援を考える～

大阪YMCA総合教育センター 土日祝
<http://www.osk-ymca-intl.ed.jp/hc/counseling/> 単
 発達に課題を抱える子どもたちの将来を見据えて、竹田契一先生・本田秀夫先生
 を迎え、今から取り組む際の考え方や支援のポイントについて学びます。
日 程 3/9(土) 13:00～17:00
場 所 大阪YMCA会館 2階ホール(西区土佐堀1-5-6)
 地下鉄「肥後橋」駅 3番出口 徒歩7分
人数・条件 定員:300人(定員なり次第締切) 参加費:2,000円
 ※申込み時に住所・氏名(ふりがな)・電話番号・FAX番号(保護者/教員/その他)を明記。詳しくはHP参照
申込方法 FAX・Eメール
問合せ▶ TEL/06-6441-0988 FAX/06-6443-7544
 Eメール soudan@osakaymca.org

⑮はじめてみよう!ボランティア 「コーヒの入れかた講座」

西区社会福祉協議会 平日
<http://nishi-fukushi.or.jp> 単
 ボランティア活動に関心のある方を募集。地域でのふれあい喫茶やサロン活
 動で役立つコーヒの入れかたを、スターバックスのバリスタより学びます。
日 程 2/27(水) 13:30～16:30
場 所 西区役所合同庁舎6階(西区新町4-5-14)
 地下鉄「西長堀」駅 4番A出口 徒歩2分
人数・条件 定員:20人(先着順) 参加費:無料
 西区でボランティア活動を行う意欲のある方
申込方法 TEL・FAX・来所
問合せ▶ TEL/06-6539-8075 FAX/06-6539-8073 (担当:井原)

⑯点字教室(全10回)

住吉区社会福祉協議会 平日
<http://www.sumiyoshi-wel.net/> 単
 点字を学び、視覚障がい者への理解を深め、点字を広めるボランティア活動
 をはじめませんか?
日 程 4/10～6/19 毎週水曜日(5/1はお休み) 13:30～15:30
場 所 住吉区民センター図書館2階集会室2(住吉区南住吉3-15-56)
 南海「沢之町」駅 徒歩5分・JR「我孫子町」駅 徒歩10分
人数・条件 定員:12人 締切:3/30(土) 参加費:1,000円(資料代として)
申込方法 TEL・FAX・郵便・来所
問合せ▶ TEL/06-6607-8181 FAX/06-6692-8813
 〒558-0021住吉区浅香1-8-47(担当:山田)

⑫講演会①飲酒問題を抱える家庭で起こっている事 ②本人・家族の体験談

大阪市アルコール関連問題 平日
ネットワーキンググループ 単
 家庭内で飲酒問題が起こって困っている人や関係機関・支援者の皆様に向けた分
 かりやすい講義を予定しております。
日 程 2/26(火) 13:55～16:30 13:30受付開始
場 所 大阪市長居障がい者スポーツセンター会議室(東住吉区长居公園1-32)
 地下鉄「JR長居」駅 徒歩6分
人数・条件 定員:80人(先着順) 参加費:無料
申込方法 FAX ※名前連絡先を明記
問合せ▶ NPO法人いちごの会
 TEL/06-6769-1517 FAX/06-6769-1517 (担当:井上)

⑬音訳講習会～声で伝えるボランティア活動～

中央区社会福祉協議会 平日
<http://www.osaka-chuo-syakyo.jp/about/j5/> 単
 視覚障がいの方にとって様々な情報は耳からも多く入ってきます。
 あなたの声で視覚障がいの方に情報を伝える活動をしてみませんか?
日 程 3/5(火) 3/12(火) 3/19(火) 10:00～12:00
場 所 ふれあいセンター (中央区上本町西2-5-25)
 地下鉄「谷町六丁目」駅 3番出口 徒歩5分
人数・条件 定員:20人 締切:3/1(金)
申込方法 TEL・FAX・来所
問合せ▶ TEL/06-6763-8139 FAX/06-6763-8151 (担当:地域支援)

⑭「点訳ボランティア養成講座」受講生募集

公益社団法人 大阪府鍼灸マッサーヂ師会 平日
<https://www.osmk.osaka.jp> 単
 6つの点の組み合わせだけで広がる点字の世界を体験してみませんか!!
 楽しい講座です。少しでも興味のある人、初心者の方、大歓迎です。
日 程 4/3～6/12の毎週水曜日(但し5/1は除く)全10回
 14:00～16:00
場 所 大阪府鍼灸マッサーヂ師会館3階(阿倍野区昭和町2-10-5)
 地下鉄「昭和町」駅 徒歩5分
人数・条件 大阪府にお住まいの人 無料(但しテキスト代として1,080円が必要)
 定員:20人(先着順) 締切:3/25(月)
申込方法 TEL・FAX・郵便・来所
問合せ▶ TEL/06-6624-3332 FAX/06-6624-3337
 〒545-0011阿倍野区昭和町2-10-5大阪府鍼灸マッサーヂ師会館(担当:小川)

⑮発達に課題のある子どもの支援講座 「自閉症スペクトラムの思春期と性教育指導」 ～基本的な考え方と具体的な支援方法～

つぼみの会(発達障がいを持つ子の親の会) 土日祝
<https://tsubominok.exblog.jp/> 単
天王寺区社会福祉協議会
<http://yuuai.org/>
 なかなか情報が入りにくい障がいのある人の「性」の話。彼らの性的自立に向け、共
 に学びましょう。講師:伊丹 昌一氏(梅花女子大学 教授)
日 程 3/16(土)
 第一部「講演会」13:00～15:00 第二部「事前質問に対する回答」15:10～16:00
場 所 天王寺区民センター(天王寺区生玉寺町7-57)
 地下鉄「四天王寺前」駅 2号出口 徒歩2分
人数・条件 定員:200人 参加費:無料 ※定員になり次第、受付を終了
 締切:2/28(木)
申込方法 TEL・FAX・Eメール
問合せ▶ TEL/06-6774-3377 FAX/06-6774-3399 天王寺区協(担当:荒野)
 Eメール b5430053@yahoo.co.jp つぼみの会(担当:加納)

23 第31回 地域福祉を支援する「わかば基金」

NHK厚生文化事業団「わかば基金」

<https://www.npwo.or.jp/info/12995>

「わかば基金」は、地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるための支援をしています。詳細についてはHPをご確認ください。

- 助成対象**
- ① **支援金部門**: 1グループにつき、最高100万円(10グループほどを予定)
対象: 国内のある一定地域に福祉活動拠点を設け、より活動を広げたいグループ
 - ② **リサイクルパソコン部門**: 総数50台程度(1グループにつき3台まで)
対象: すでに福祉活動(高齢者・障がい者)に取り組む、台数を増やすことで、より活動の充実を図れるグループ
 - ③ **災害復興支援部門**: 1グループにつき、最高100万円(5グループほどを予定)
対象: 東日本大震災以降に激甚災害指定を受けた被災地域に活動拠点が、そこで復旧・復興をすすめているグループ、または、新たな福祉事業を展開したい、と考えているグループ

申込方法 申請書に必要事項を記入し、その他 提出書類を添付して郵送してください(申請書はHPよりダウンロードできます)

応募締切 3/29(金) 必着/郵送のみ受付

問合せ ▶ 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1
TEL/03-3476-5955

24 ノエビアグリーン財団助成事業

公益財団法人ノエビアグリーン財団 事務局

<https://www.noevirgreen.or.jp/grants/>

日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、心身ともに健全な青少年の育成に寄与することを目的として、一般公募による助成活動を実施しています。

助成対象 児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的にに行い、または奨励している分野に当てはまる団体

助成額 1件あたり上限300万円

応募方法 「ノエビアグリーン財団助成サポートシステム」から申込み ※HP参照

応募締切 2/28(木)

問合せ ▶ TEL/03-5568-0305
Eメール info@noevirgreen.or.jp (担当/三井・森山・後藤)

25 第19回社会貢献基金助成

一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団

<http://www.ceremony-culture.jp/>

地域の種々の災害の救済、社会福祉事業、環境保全事業、地域つながり事業、冠婚葬祭承継事業など社会貢献活動を行う各種団体等への助成、並びに社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成を行い、以て日本の生活文化と地域社会の発展に寄与することを目的としています。

助成対象 非営利組織(その他任意団体、市民ボランティアグループも対象となります。)又は大学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。

助成額 1件あたりの上限額:200万円

応募方法 HPから第19回社会貢献基金助成申請書をダウンロードして作成・郵送

応募締切 2月末日(必着)

問合せ ▶ 一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団 社会貢献基金助成 運営事務局
〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-12 COMS虎ノ門6階
TEL/03-3596-0061 (担当:三宅)

20 「一人じゃないの」発達障がい講座

生野区社会福祉協議会

<http://ikunoku-shakyo.jp/>

「分かってほしい発達障がいのこと」をテーマに講座を開催します。(全4回①②終了)

日 程 ③3/2(土)「発達障がいについて考える～みんなの声から～」13:30～16:00
発達障がいについて、皆で話し、考える時間にします
④3/9(土)「大人の発達障害～凸凹を楽しむ」13:30～16:00
広野ゆいさん(NPO法人DDAC発達障害をもつ大人の会 代表)

場 所 生野区在宅サービスセンターおかしやま 2階多目的室
(生野区勝山北3-13-20)
JR「桃谷」駅 徒歩15分 シティバス「生野区役所」 徒歩2分

人数・条件 定員:40人 参加費:無料 締切:③は2/23(土) ④は3/2(土)

申込方法 TEL・FAX

問合せ ▶ TEL/06-6712-3101 FAX/06-6712-3001 (担当:藤村)

21 本日青春学園～大人のための演劇寺子屋～参加者募集

NPO法人 発起塾

<http://hokkijuku.net/>

内容は毎月変わり、様々な演芸(殺陣、能、ダンス、第九など)に楽しみながら触れる大人のための講座イベントです。

日 程 2月～12月第3金曜日(全10回※8月はお休みです)
14:00～16:00

場 所 クレオ大阪中央セミナーホール(天王寺区上汐5-6-25)
地下鉄「四天王寺夕陽ヶ丘」駅 徒歩5分

人数・条件 定員:100人 50歳以上であればどなたでも参加できます。
参加費1回3,000円(全10回参加の方は割引あり)

申込方法 TEL・FAX・Eメール・郵便・HP

問合せ ▶ TEL/0120-86-2615 FAX/06-4703-5484
〒546-0043東住吉区駒川3-21-6
Eメール hokkimail2000@hokkijuku.net (担当:津田)

22 第29回自然観察インストラクター養成講座

(公社)大阪自然環境保全協会

<http://www.nature.or.jp>

自然を伝えよう!身近な人から未来の子どもたちへ
身の回りの自然を観察し不思議を見つけ驚きを共有し、それを通して生命や自然の大切さを伝えます。

日 程 4/6(土)～11/23(土・祝)/全27回(土日及び水・木曜日夜間)
9:30～16:00/19:00～21:00

場 所 大阪市立中央区民センター(中央区久太郎町1-2-27)
地下鉄「堺筋本町」駅 3号出口 徒歩2分

人数・条件 18歳以上 定員:20人 参加費:29,000円 締切:4/1(月)

申込方法 FAX・Eメール・郵便・HP

問合せ ▶ TEL/06-6242-8720 FAX/06-6881-8103
〒530-0041北区天神橋1-9-13ハイム天神橋202号
Eメール inst@nature.or.jp (担当:後藤)



情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

専用フォームから情報をお寄せください。

<https://ws.formzu.net/sfgen/S53168917/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:濱辺・柁・杉岡)

※本誌の発行日は8月と1月を除く毎月15日です。募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。

(例:平成31年4月15日発行号(5月号)に掲載希望の場合は2月末日まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。



～海外から日本へ～
大阪の高校に学ぶ
若者たち Vol.29

season 3

海外から来日、帰国して学ぶ高校生。
複眼的な視野をもつ彼らが毎号1人ずつ登場します。
(協力: NPO法人 おおさか子ども多文化センター)

イラン国籍のペルシャ人です。イランの幼稚園に通い、5才で日本に来ました。日本では小学校、中学校を卒業し、現在、大阪府立高校の3年生です。この学校で色々なタイプの先生や友人と話しています。学校生活は、英語の勉強を一所懸命しています。2年次、3年次で実用英語技能試験を受験、3年次には日本語能力試験も受験しました。すべて合格できてうれしかったです。

その後も、1日3から4時間、英語の勉強を続けていますが、大学入学試験はなかなか大変です。日常

プロフィール

EBRAHIMI SHIVA (エブラヒミ シーバ)
ルーツ: イラン
学年: 府立高校3年生
好きなこと: ファッション、料理

こんにちは!

سلام
(サラーム)



生活ではファッションに興味があります。好きな服をできるだけ安く買えるようにネット上で他国から購入したりします。自分でできることは、自分でしてファッションを楽しんでいます。これを活かして起業ができればと思います。

料理も好きです。トン汁やカレーなどの日本料理、ポロ※(ジはん)やケバブ(お肉)などのペルシャ料理(イラン料理)も時間のあるときに作っています。



ポロ



食後は絵本の読み聞かせをききながら、ゆったりした時間を過ごします

代表の竹村朋子さんは、この取組みを始めた当初、毎日コンビニのお弁当を食べている子どもの孤食が気になっていました。一緒に温かいごはんを食べよう」と2015(平成27)年にオープンすると、フェイสบックや口コミで広まり、就学前の子育て中の

「みんなのIBASYOプロジェクト」は、シングルマザーで子育て中のお母さんがたまに息抜きしてゆっくりできるように、また子どもたちの孤食をなくそうと、東成区のレンタルスペースを借り、隔週の火曜日に栄養バランスの良い温かい食事を届けています。

代表の竹村朋子さんは、この取組みを始めた当初、毎日コンビニのお弁当を食べている子どもの孤食が気になっていました。一緒に温かいごはんを食べよう」と2015(平成27)年にオープンすると、フェイสบックや口コミで広まり、就学前の子育て中の

みんなのIBASYOプロジェクト

日時: 月2回(第2, 4火曜日)
食費: 大人800円(寄付含む)、子ども無料
場所: 東成区玉津1-3-9 レンタルスペースしんたに
問合せ: TEL080-6154-3262(事前要予約)
Eメール: astonokai@mail.zaq.jp

みんなのIBASYOプロジェクト

一緒に食べよう! 温かい食事

ボラ基金助成団体へ突撃取材
平成29年度大阪市ボランティア活動振興基金を助成した団体を紹介します。
子どもの居場所づくり事業

親子や、ひとり親家庭の親子など、今では約30人が集い、賑やかに食卓を囲みます。食後は、母親同士、自然と話が弾みます。

洋食を作るプロの料理人、配膳を手伝うご近所さん、ECC社会貢献・国際交流センターの学生など多くのボランティアに支えられています。今は限られたスペースの運営に、人数や回数などの制約がありますが、大人の参加者からのドネーション(寄付)を資金に充て、地域や社会福祉施設と連携しながら、誰でもしんどい時に、一緒にごはんを食べて良かったと思える地域食堂を目指しています。



筒井千枝さんと竹村朋子さん(右)

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力を願っています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. あると答えた人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌 COMVO234号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2019年3月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報は、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



編集後記

今年度、情報誌COMVOでは「子どもの生きる力を育む」をテーマに、大阪市内で取組まれているこども食堂や、NPO法人が実施する子どもキャンプやデザイン教室など様々な形の「子どもの居場所」を取材してきました。その中で見えてきたことは、「子ども一人ひとりにとって居心地の良い居場所をいかに作っていくか」ということでした。

子どもの孤立化は貧困世帯に限らず、世帯収入が高くても、毎晩一人でご飯を食べる子、休日を家で一人で過ごす子も多くいます。こどもの居場所に関わるボランティアらは、みな子ども一人ひとりに向き合いながら、家庭でも学校でもない、「ナナメの関係」を築き、居心地の良い居場所づくりに努めています。またその活動は、こども食堂や学習支援に限ることなく、遊びやスポーツ、音楽や芸術活動に広がり、その様な多様な活動が「子どもの文化的な活動や経験」を増やし、子どもの生きる力を育むことに繋がっていると感じました。

COMVOでは今後も子どもの声を大切にしながら、居場所づくり活動の広がりを追っていきます。

COMVOのバックナンバー
電子BOOK版COMVO
みてね！



ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集！

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載！市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年10回発行

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)

■申込方法

下記まで問合せください

広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)
表4 1ページ	234,000円	240×170
表4 1/2ページ	127,500円	117×170
本文 1ページ	156,000円	257×182 240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170
本文 1/5ページ	38,000円	48×162

※原稿は原寸大の完全原稿(ボジ・MOデータ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <http://www.osakacity-vnet.or.jp>

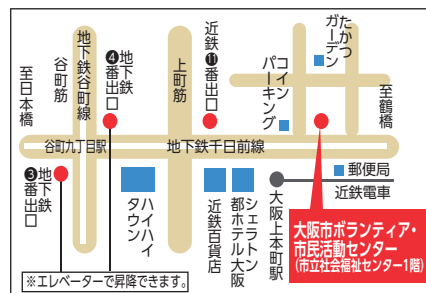
●開館時間：午前9時30分～午後8時30分(月・水・金) 午前9時30分～午後5時(火・木・土)

●休館日：日・祝・国民の休日・年末年始

●発行日：2019年2月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数：40,000部 ●制作協力：商工印刷株式会社 ●点訳協力：NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所

ウェブサイトからもチェック可能! <http://comvo.lekumo.biz>

Osaka Metro(オオサカメトロ) (新大阪・淀屋橋・本町・なんば・天王寺・なかもず・大日・太子橋今市・天神橋筋六丁目・東梅田・天満橋・谷町九丁目・喜連瓜破・住之江公園・大阪港・堺筋本町・野田阪神・日本橋・天下茶屋・大正・蒲生四丁目・ポートタウン東 各駅)、阪神電車(梅田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫内の店舗など

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで
地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元の子どもたちの明るい笑顔を力にして
私たちはこれからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティアビューロー	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティアビューロー	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0083